

第3回東日本大震災に関する活動助成 活動報告書

団体名	東日本大震災被災者さんへの暮らしサポート隊
活動テーマ	① 関西への県外避難者さんの癒しの場＝みちのくだんわ室の毎月の開催 ② 避難者自主活動の後方支援

 <p>2012年10月だんわ室 刀削麺の実演</p> 	 <p>2012年12月みちのくだんわ室 クリスマス会</p>
 <p>2013年1月だんわ室 中国茶と点心を楽しむ</p>	 <p>2012年11月だんわ室 芸術の秋を楽しむ</p>

活動の内容と成果

県外避難者の grief care として、みちのくだんわ室の回数を重ねるごとに、「100人大家族の協同の居間」のような雰囲気醸成し出され、参加者がリラックスし、家族のような親しみを感じてこられた。馴れない避難先の緊張した非日常の日々から、ひととき日常に戻る時間を過ごされているのが伝わってくる。毎月参加される人からは「生きがいの場になっている」との声もある。2011年6月～2013年3月までの20回のみちのくだんわ室の参加者の延べ人数は796人(うち大人 436人)、参加スタッフの延べ人数は274人である。

若い母親たちは携帯電話のアドレス交換をして、ネットワークをつくり、連絡しあっておられる。年輩者も電話でおしゃべりなどをされているようで、異郷の地で心の通う知人ができたことは心強く感じられていると察する。

また、避難者の自主活動も活発になり、暮らしサポート隊は5回の自主活動の後方支援を行った。自主活動の内容は、昼食会、想いを語りあい・聴く会、集いと放射能勉強会などである。

第3回助成期間の具体的な実施状況 / みちのくだんわ室の開催

2012年10月—明石公園/刀削麺の実演と3種の麺をいただく。11月—兵庫県立美術館/芸術鑑賞とティタイム。12月—ホテルクラウンパレス神戸でクリスマスパーティ/ミニコンサート。2013年1月—赤坂飯店 Tio 舞子/新春の中国茶と点心。2月—神戸中央卸売市場の料理教室/参加者の鰯の解体ショーと鰯シャブやお寿司等のご馳走をいただく。3月—三田市の有馬富士公園・県立人と自然の博物館へバスツアー。